

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時: 令和8年4月1日 午前・(午後) 1時
 調査者氏名: 津市 太郎

調査した日時と、調査を行った方の氏名を記入してください。

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者: 津市 花子
2. 建築物所在地: 津市広明町13
3. 階数: 2階建て
4. 居住の有無: (居住あり) ・ 空き家

建築物の所有者、所在地、階数を記入してください。

II) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

戸建て木造住宅である	<input type="radio"/>
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	<input type="radio"/>

前提条件に該当することを確認し、“○”を記入してください。
 ※混構造は対象外

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

※該当する項目については、その状況がわかる写真及び建物の外観写真を提出してください。

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	<input type="checkbox"/>
	全体又は一部に傾斜や変形がある	<input type="checkbox"/>
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	<input type="checkbox"/>
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	<input type="checkbox"/>
	基礎がコンクリートであり、ひび割れ(1mm以上)や欠損が見られる	<input type="radio"/>
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	<input type="checkbox"/>
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	<input type="checkbox"/>
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	<input type="checkbox"/>

各項目について敷地や建築物等の状況を確認して該当する場合は、“○”を記入。
 あくまでも目安になりますが、各項目の判断に当たっては、下記の表をご参考にしてください。
 該当する項目についてはその状況がわかる写真及び建物の外観写真を提出し

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目(例示)

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目(例示)

箇所	項目	例
建物全体	全体又は一部に崩壊がある	・建物全体が崩壊・落階している ・屋根や外壁の一部が脱落している ・柱が折れている ・外壁に広範囲に亀裂や穴が生じている
	全体又は一部に変形がある	・建物全体が傾いている ・棟がうねっている ・軒先が垂れている ・柱や壁が傾いている ・床に起伏がある
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	・土地の沈下や建物の沈下が見られる
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	・基礎が玉石、石積み、ブロック、レンガ等である
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	・基礎がひび割れている(1mm以上) ・基礎の一部が欠けている ・鉄筋の露出や鉄筋のさび汁が見られる
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	・部材が食害されている(特に床下や小屋裏等の暗くて多湿な箇所を確認) ・白蟻の巣がある ・部材に虫がわいている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	・部材が湿気等により腐っている ・部材にカビが生えている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	・部材に穴がある ・部材が欠けている ・部材に亀裂が見られる

※上記の項目において、該当する項目が1つ以上ある場合、倒壊の危険性があると判断されます。